

# 財 政 事 情 書

平成 2 4 年 5 月

平成 2 4 年度当初予算

平成 2 3 年度下半期予算

日 立 市

## ま え が き

市は、市民の皆さんに、最近の財政状況を通して市政の動きをお知らせし、豊かで住みよい地域づくりに一層のご理解とご協力をいただくために、財政状況を年2回公表しています。

今回の内容は、平成24年度の予算と主な施策の概要及び平成23年10月1日から平成24年3月31日までの間における収入支出の状況をはじめ、市民の市税負担の状況についてお知らせするものです。

# 目 次

まえがき		頁
1	予算編成の基本的な考え方 .....	1
2	一般会計予算 .....	2
	(1) 歳入 .....	2
	(2) 歳出 .....	9
3	特別会計予算 .....	15
4	企業会計予算 .....	26
5	平成24年度の主な施策の概要 .....	27
6	平成23年度予算に対する下半期収入支出の状況について .....	33
	(1) 一般会計 .....	33
	(2) 特別会計 .....	35
7	市民の市税負担の状況について .....	36

## 平成24年度当初予算について

### 1 予算編成の基本的な考え方

平成24年度の我が国経済は、緩やかに回復が見込まれるものの、欧州政府債務危機の深刻化や原油高、電力供給の制約など、下振れリスクに留意しなければならないとされています。このような経済見通しのもとに編成された国の予算は、歳入全体の49%が国債で賄われるという厳しい財源構成ではあるが、「日本再生元年予算」と位置付け、引き続き震災復興に最優先で取り組むとともに、日本経済の成長戦略の実現を柱に据えた予算となっています。

本市の予算については、景気低迷や評価替えの影響などから、歳入の根幹である市税が大幅に減収すると見込む厳しい状況ではあるが、震災復興計画及び新総合計画の基本理念を実現するため、防災機能の強化や地域医療体制の確保などに適切に対応するとともに、将来を見据えた都市・産業基盤の整備など、本市の持続的な発展に必要な施策に取り組む予算としました。

一般会計は、前年度に比べ12億300万円増（1.9%）の630億4,300万円となりました。これは、防災機能強化のための、道路や消防・救急無線等のインフラ整備、小・中学校の耐震診断の実施によるものです。また、特別会計と企業会計（水道、下水道、工業用水道）を合わせた予算額は、前年度に比べ7億8,637万円減（△1.9%）の415億1,475万円となっています。

全ての会計を合わせた予算額は、4億1,663万円増（0.4%）の1,045億5,775万円となります。

なお、一般会計、特別会計及び企業会計の平成24年度当初予算額は、次のとおりです。

#### <平成24年度会計別当初予算額>

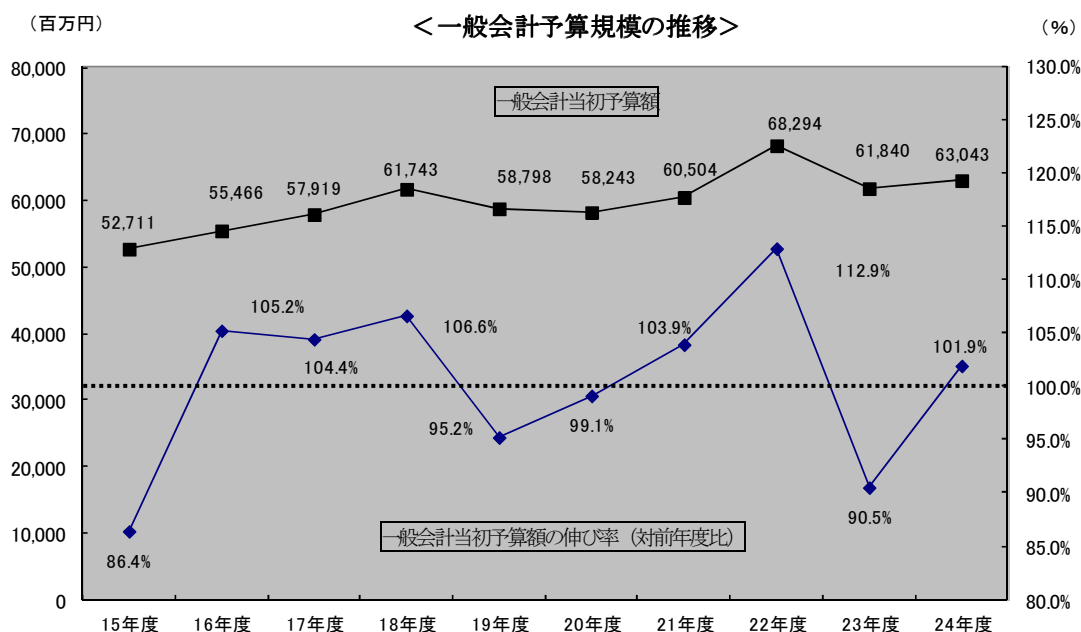
(単位：千円)

会計別	24年度当初(A)	23年度当初(B)	比較(A)－(B)	前年度比 (A)／(B)%
一般会計	63,043,000	61,840,000	1,203,000	101.9
特別会計	30,010,670	29,272,075	738,595	102.5
企業会計 (水道・下水道・工業用水道)	11,504,075	13,029,043	△1,524,968	88.3
<b>総 額</b>	<b>104,557,745</b>	<b>104,141,118</b>	<b>416,627</b>	<b>100.4</b>

特別会計：国民健康保険事業、動物園事業、簡易水道事業、公設地方卸売市場事業、介護保険事業、介護サービス事業、戸別合併処理浄化槽事業、後期高齢者医療事業、霊園事業

## 2 一般会計予算

一般会計予算には、地方公共団体の行政運営の基本的な経費が中心として計上されており、予算の本体をなすものです。平成24年度当初の一般会計予算額は、630億4,300万円で、平成23年度当初に比べて1.9%の増となっています。



### (1) 歳入

一般会計の歳入の主なものは、市税274億1,056万円、地方交付税50億円、国庫支出金90億5,085万円、繰入金48億5,366万円、市債52億5,420万円などです。

このうち本市歳入の最も大きな割合を占める市税収入は、平成24年度評価替え等により、固定資産税と都市計画税が減少するとともに、法人市民税についても減収が見込まれ、前年度に比べ13億5,129万円（△4.7%）の減となる見込みです。

また、地方交付税は、国の地方財政計画では、0.5%の増となっているものの、市税収入の大幅減の影響を受け、前年度と比べ8億円（19.0%）の増となる見込みです。

一方、市税、使用料など市が自らの手で確保できる収入（自主財源）は377億177万円で、歳入全体に占める割合は59.8%となっています。これに対し、国庫支出金、地方交付税、市債など国・県などから決められた額を交付されたり、割り当てたりする収入（依存財源）は253億4,123万円で、歳入全体に占める割合は40.2%となっています。

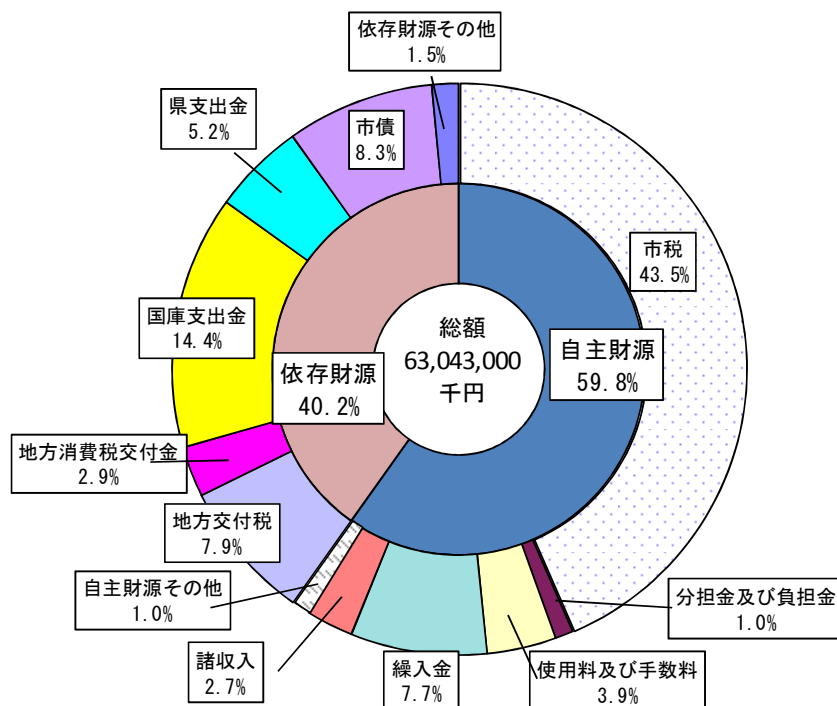
なお、一般会計歳入予算の内訳は次の表のとおりです。

**<一般会計歳入予算の内訳>**

(単位：千円)

区 分	予 算 額		比 較	前年度比 (%)	構成比 (%)
	24年度当初	23年度当初			
市 税	27,410,556	28,761,845	△1,351,289	95.3	43.5
地 方 譲 与 税	550,000	578,000	△28,000	95.2	0.9
利 子 割 交 付 金	60,000	60,000	0	100.0	0.1
配 当 割 交 付 金	29,000	26,000	3,000	111.5	0.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	13,000	13,000	0	100.0	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	1,800,000	1,800,000	0	100.0	2.9
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	40,000	40,000	0	100.0	0.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金	120,000	110,000	10,000	109.1	0.2
地 方 特 例 交 付 金	95,000	290,000	△195,000	32.8	0.1
地 方 交 付 税	5,000,000	4,200,000	800,000	119.0	7.9
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	43,000	45,000	△2,000	95.6	0.1
分 担 金 及 び 負 担 金	647,305	660,858	△13,553	97.9	1.0
使 用 料 及 び 手 数 料	2,463,196	2,476,172	△12,976	99.5	3.9
国 庫 支 出 金	9,050,853	8,840,760	210,093	102.4	14.4
県 支 出 金	3,286,180	3,265,417	20,763	100.6	5.2
財 産 収 入	334,763	356,830	△22,067	93.8	0.5
寄 附 金	10,100	10,100	0	100.0	0.0
繰 入 金	4,853,656	4,618,187	235,469	105.1	7.7
繰 越 金	300,000	300,000	0	100.0	0.5
諸 収 入	1,682,191	1,788,731	△106,540	94.0	2.7
市 債	5,254,200	3,599,100	1,655,100	146.0	8.3
<b>総 額</b>	<b>63,043,000</b>	<b>61,840,000</b>	<b>1,203,000</b>	<b>101.9</b>	<b>100.0</b>

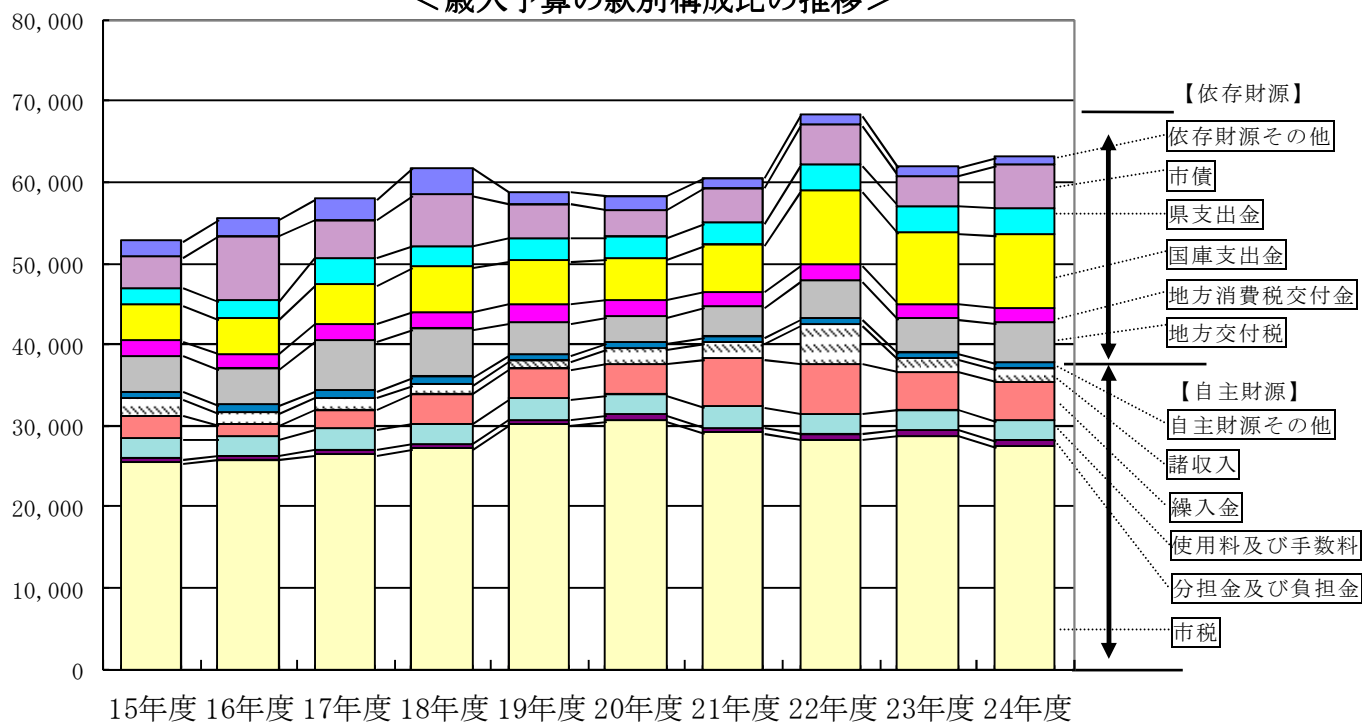
< 自主財源・依存財源別構成比 >



次に、主な歳入科目について内容を見てください。

(百万円)

< 歳入予算の款別構成比の推移 >

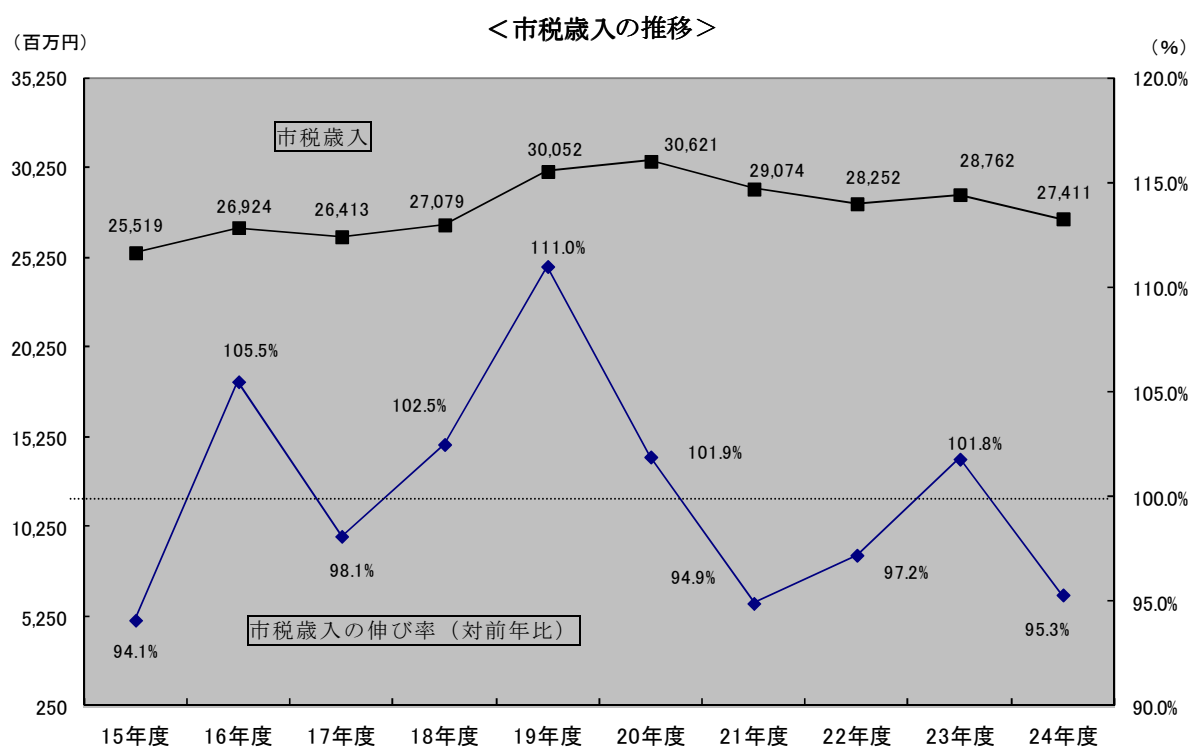


## ア 市税

平成24年度の市税の予算額は274億1,056万円で、前年度予算額の287億6,185万円と比較すると13億5,129万円の減(△4.7%)となっています。歳入全体に占める割合は43.5%で、前年度(46.5%)に対して3.0%減っています。

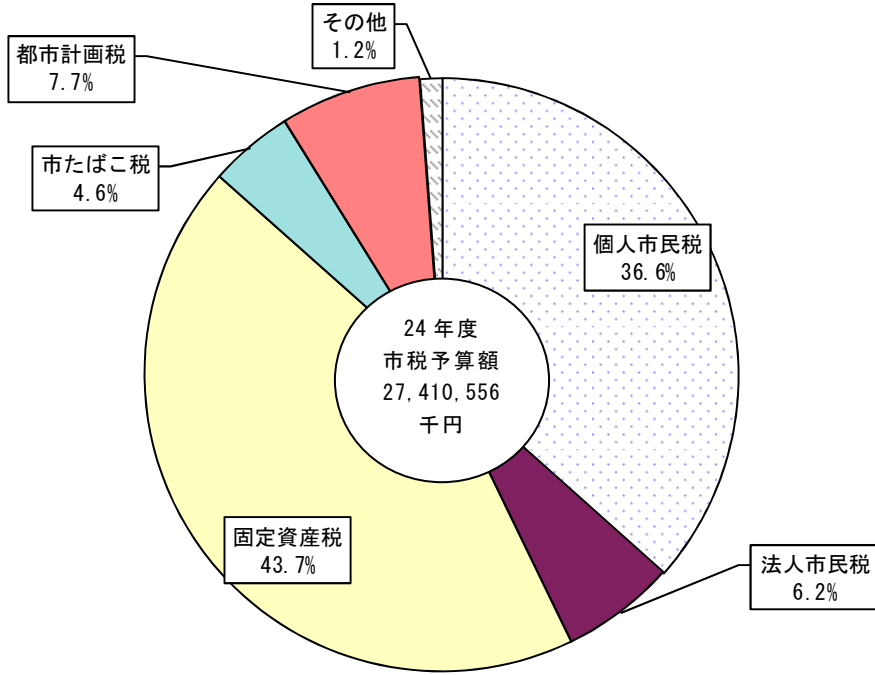
主な税目についてみると、市民税のうち、個人市民税が前年度と比較して1億円減(△1.0%)の100億3,000万円、法人市民税が3億100万円減(△15.0%)の17億600万円となっています。

また、市税の予算額の約44%を占める固定資産税は8億8,843万円減(△6.9%)の119億8,807万円となっています。



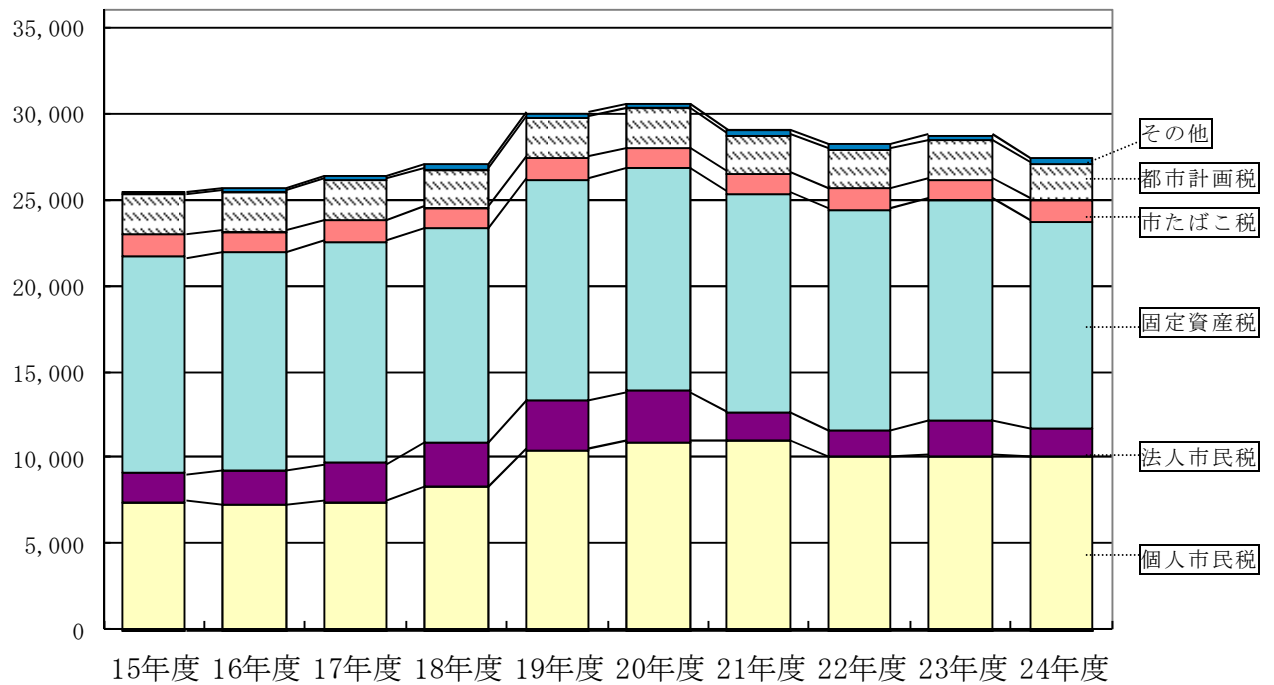


<市税の税目別構成比>



(百万円)

<市税の税目別構成比の推移>



## イ 地方交付税

地方交付税は、国がどの地域に住む住民にも標準的な行政サービスや道路等の社会資本を提供することができるように、国税の一定割合を収入の足りない地方公共団体に交付するものです。地方公共団体が自ら徴収した地方税同様、どのような使途に充てるかはその地方公共団体に任されています。

平成24年度の予算額は50億円で、歳入全体の7.9%を占めています。

平成24年度は、国の地方財政計画では0.5%の増となっているものの、市税収入の大幅減の影響を受け、前年度予算の42億円と比較すると8億円の増(19.0%)となっています。

## ウ 国庫支出金

国庫支出金は、国が法律に基づいて負担する生活保護費や子ども手当費などの扶助費や地方公共団体が行う道路建設事業や災害復旧事業などに対して、国が使途を特定して交付するものです。

平成24年度の予算額は90億5,085万円で、歳入全体に占める割合は、14.4%となっています。

平成24年度は、水木小学校校舎改築事業や大甕駅周辺地区整備事業等の負担金や補助金の増額が見込まれるため、前年度予算額の88億4,076万円と比較すると、2億1,009万円の増(2.4%)となっています。

## エ 基金繰入金

基金繰入金は、建設事業や市債の返済などの特定の目的に充てたり、予算全体の財源調整のために基金(市の預金)から繰り入れられるものです。

平成24年度の予算額は、48億5,366万円で、歳入全体に占める割合は、7.7%となっています。

なお、災害非常用持出袋を市民に配布するなどの防災体制整備事業実施のため、震災復興基金から1億3,187万円を繰り入れています。

## オ 市債

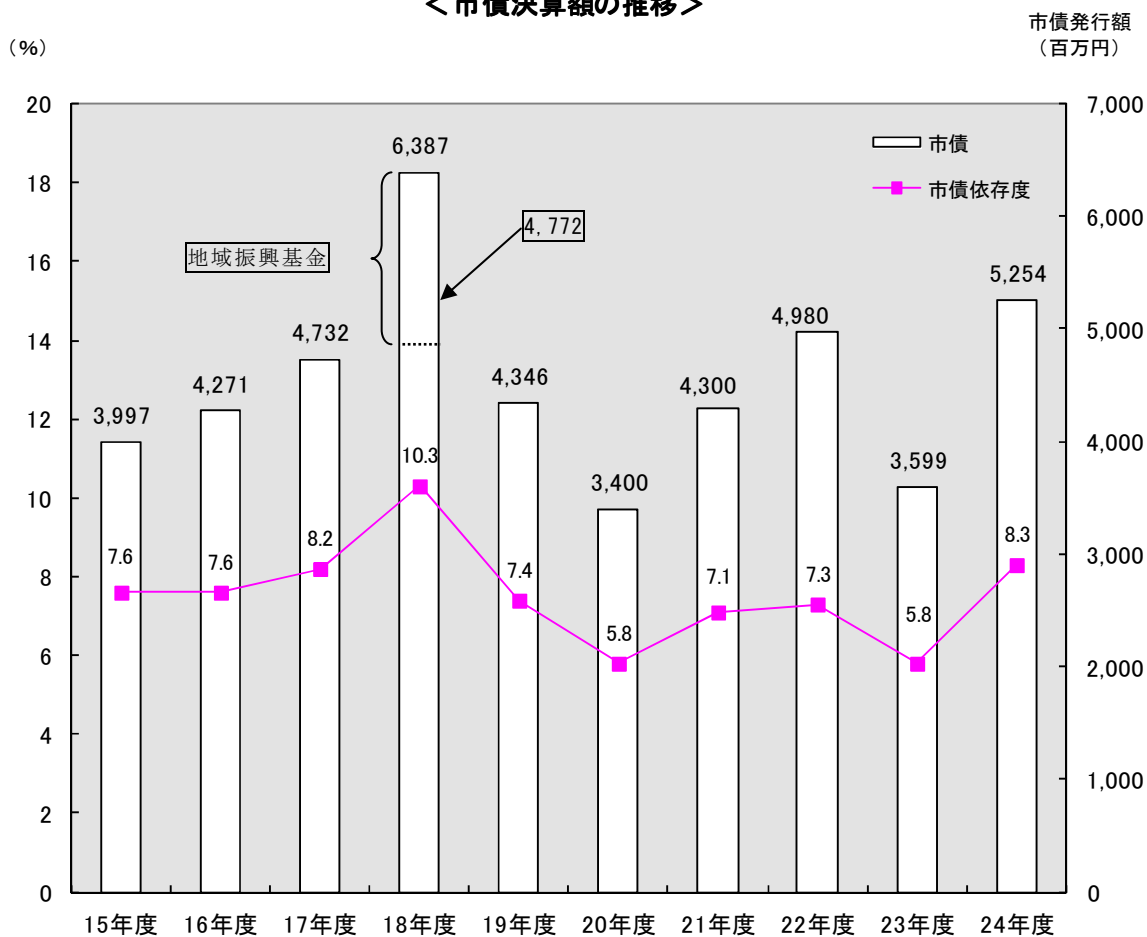
市債は、市が公共事業、災害復旧事業などの資金調達のために行う長期の借入金です。平成24年度の予算額は52億5,420万円で、前年度予算額の35億9,910万円と比較すると16億5,510万円の増(46.0%)となっています。これは、消防・救急無線のデジタル化事業や災害復旧のための水木小学校校舎改築事業等を行うことによるものです。

市債依存度(歳入総額に占める市債の割合)は、前年度の5.8%から8.3%と増

えています。

なお、この市債の返済金は、翌年度以降に公債費として歳出予算に計上し、返済していきます。

### <市債決算額の推移>



## (2) 歳出

平成24年度の歳出予算額について、款別（経費の目的・機能ごと）及び性質別（経費の性質・用途ごと）に見てみます。

### ア 歳出予算の款別（目的別）内訳

歳出予算を款別に分類してみると、最も構成比の高いのは民生費で全体の33.3%、次いで土木費14.9%、教育費11.7%、総務費11.4%、公債費10.7%と続きます。

各費目の主な内容は、次のとおりです。

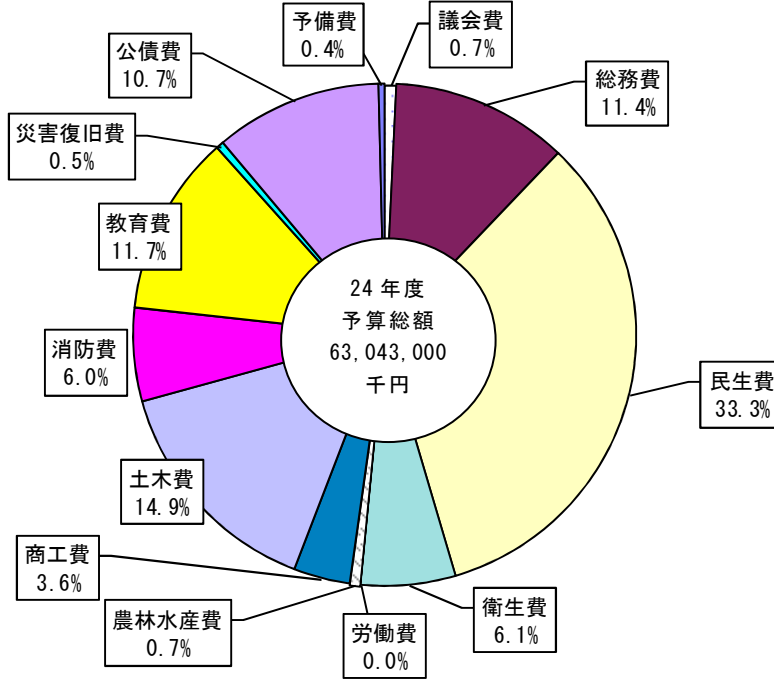
区 分	主 な 内 容
議会費	市議会議員の報酬、議会の開催費、議会事務局の運営費
総務費	庁舎の維持管理費、財産管理費、徴税費、統計調査費、戸籍・住民基本台帳管理費、監査委員費、企画費、市民運動推進費、防災対策費
民生費	社会福祉費、障害者福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保護費、女性活動推進費
衛生費	保健衛生費、清掃費、環境保全対策費
労働費	勤労者福祉対策費、雇用安定対策費
農林水産業費	農業委員会費、農業・林業・水産業振興費、漁港費
商工費	商工振興費、計量検査費、観光費、奥日立観光施設費、温泉保養施設費、久慈観光交流施設費、消費生活対策費
土木費	道路、河川、港湾、公営住宅、下水道、公園などの整備・管理費、地籍調査費、都市計画費、交通安全対策費
消防費	常備消防費、消防施設整備費
教育費	小・中・養護学校及び幼稚園の整備・管理費、社会教育費、保健体育費
災害復旧費	災害復旧費、災害対策費
公債費	市債の償還のための元金や利子、一時借入金の利子
予備費	予算の議決後に不測の事態が生じた場合に対処するための経費

**<一般会計款別歳出予算の内訳>**

(単位：千円)

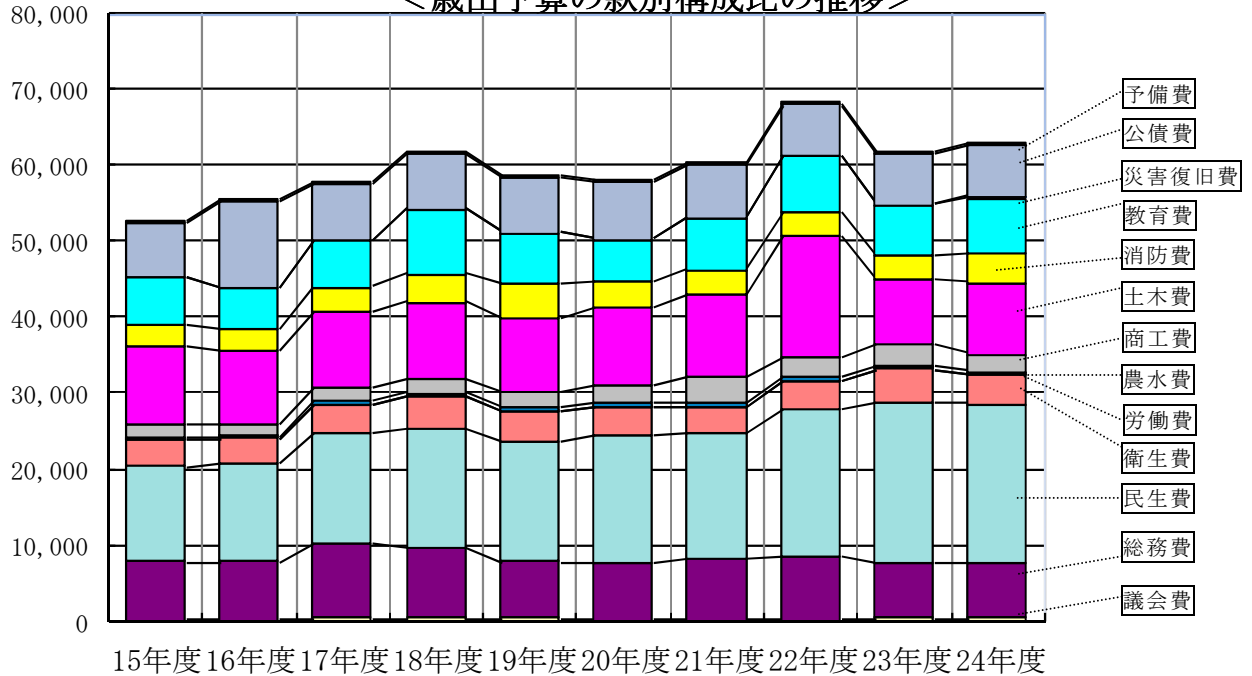
区 分	2 4 年 度			2 3 年 度			総額の前 年度比 (%)
	総 額	人件費	その他	総 額	人件費	その他	
議 会 費	468,708	421,082	47,626	526,934	478,277	48,657	89.0
総 務 費	7,172,178	3,294,061	3,878,117	7,229,987	3,345,286	3,884,701	99.2
民 生 費	21,010,143	2,026,426	18,983,717	21,152,875	2,022,714	19,130,161	99.3
衛 生 費	3,846,294	689,776	3,156,518	4,352,966	691,639	3,661,327	88.4
労 働 費	3,626	10	3,616	3,132	33	3,099	115.8
農林水産業費	421,479	177,766	243,713	485,647	173,451	312,196	86.8
商 工 費	2,281,362	325,308	1,956,054	2,855,413	326,895	2,528,518	79.9
土 木 費	9,380,316	1,584,105	7,796,211	8,434,033	1,639,739	6,794,294	111.2
消 防 費	3,791,393	2,776,512	1,014,881	3,218,473	2,793,954	424,519	117.8
教 育 費	7,347,529	2,568,275	4,779,254	6,515,089	2,596,418	3,918,671	112.8
災害復旧費	302,238	1,217	301,021	0	0	0	皆増
公 債 費	6,767,734	0	6,767,734	6,815,451	0	6,815,451	99.3
予 備 費	250,000	0	250,000	250,000	0	250,000	100.0
<b>総 額</b>	<b>63,043,000</b>	<b>13,864,538</b>	<b>49,178,462</b>	<b>61,840,000</b>	<b>14,068,406</b>	<b>47,771,594</b>	<b>101.9</b>

＜歳出予算の款別構成比＞



(百万円)

＜歳出予算の款別構成比の推移＞



## イ 歳出予算の性質別内訳

歳出予算を性質別に大きく分類すると、「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の3つに分けることができます。

義務的経費とは、人件費、扶助費及び公債費の合計で、組織の運営のためや法令などによりその支出が義務付けられているものであり、平成24年度予算額では334億2,120万円となり、歳出総額の52.9%を占めています。

これに対し、投資的経費とは、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費の合計で、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等が将来に残るものに支出される経費であり、平成24年度予算額では70億5,789万円となり、歳出総額の11.2%を占めています。

次に、性質別予算を個々に見た場合、最も構成比が高いのは、職員給与費などからなる人件費で、歳出全体の21.8%（137億7,489万円）となっています。

次いで、社会保障制度の一環として、生活に支援が必要な方への援助や各種福祉サービスを提供する扶助費で、20.4%（128億7,864万円）を占めています。

3番目に構成比率の高いのは、市が業務を遂行する際に要する需用費（消耗品費、印刷製本費、光熱水費など）、役務費（通信運搬費、手数料など）、備品購入費、委託料などの物件費で、17.2%（108億1,348万円）となっています。

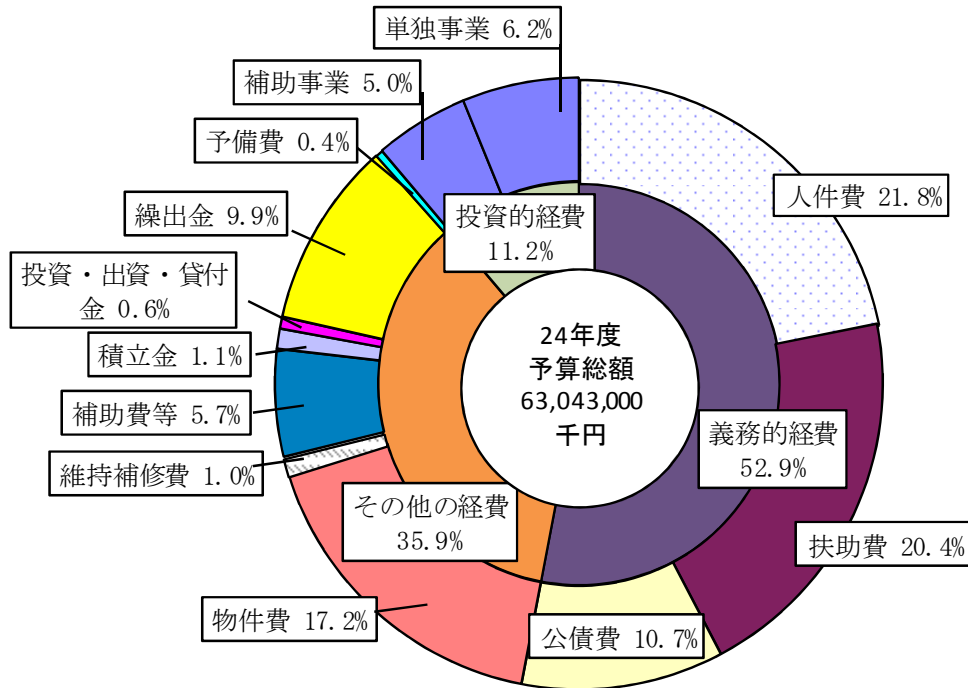
**<一般会計性質別歳出予算の内訳>**

(単位：千円)

区 分	予 算 額		比 較	前年度比 (%)	構成比 (%)	
	24年度	23年度				
人 件 費	13,774,885	13,924,991	△150,106	98.9	21.8	
扶 助 費	12,878,639	13,278,906	△400,267	97.0	20.4	
公 債 費	6,767,679	6,815,383	△47,704	99.3	10.7	
物 件 費	10,813,482	10,068,313	745,169	107.4	17.2	
維 持 補 修 費	610,548	763,847	△153,299	79.9	1.0	
補 助 費 等	3,586,940	4,184,984	△598,044	85.7	5.7	
積 立 金	673,026	920,989	△247,963	73.1	1.1	
投資及び出資金	3,000	1,700	1,300	176.5	0.0	
貸 付 金	395,000	476,600	△81,600	82.9	0.6	
繰 出 金	6,231,914	6,043,394	188,520	103.1	9.9	
普通建設事業費	7,057,887	5,110,893	1,946,994	138.1	11.2	
内 訳	補 助	3,159,779	2,067,288	1,092,491	152.8	5.0
	単 独	3,898,108	3,043,605	854,503	128.1	6.2
予 備 費	250,000	250,000	0	100.0	0.4	
<b>総 額</b>	<b>63,043,000</b>	<b>61,840,000</b>	<b>1,203,000</b>	<b>101.9</b>	<b>100.0</b>	

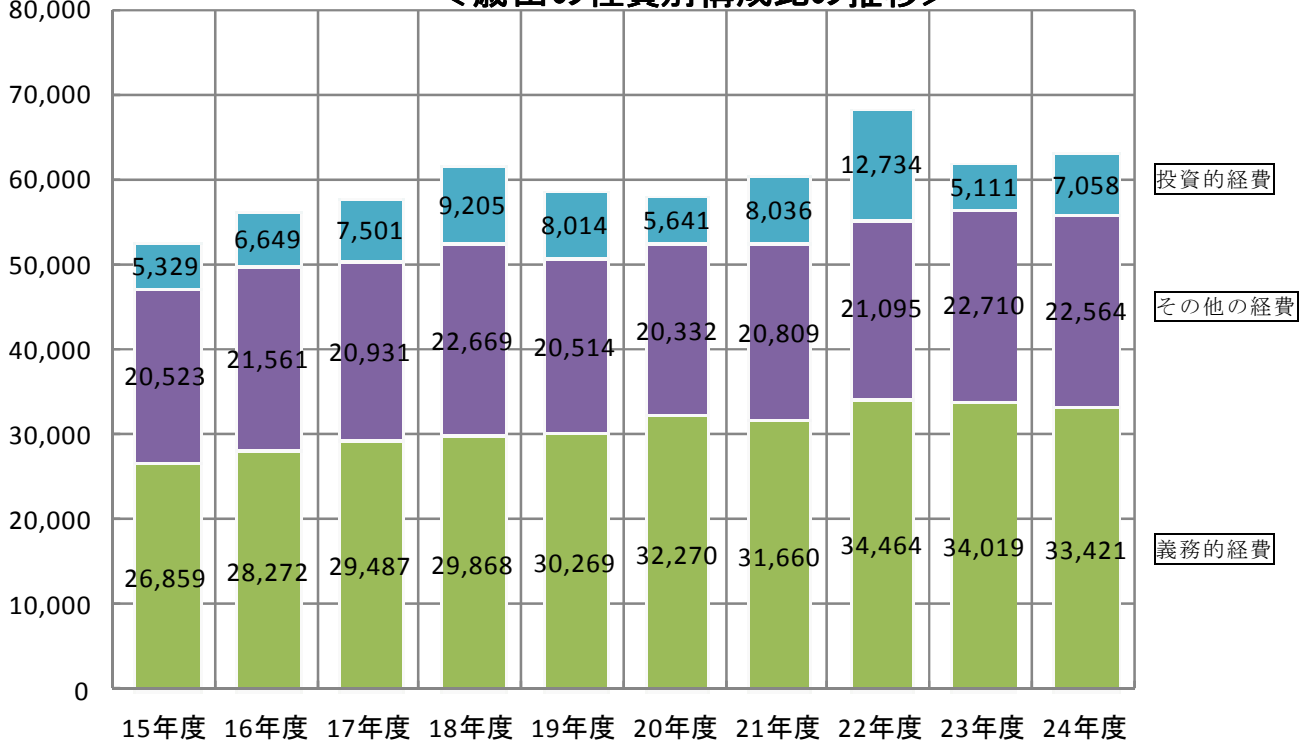


### <歳出予算の性質別構成比>



(百万円)

### <歳出の性質別構成比の推移>



### 3 特別会計予算

特別会計は、特定の事業を行う場合又は特定の歳入をもって特定の歳出に充てる場合に、一般の歳入歳出と区別して別個に経理するための会計です。

平成24年度の特別会計の予算総額は300億1,067万円で、前年度の292億7,208万円と比較すると、7億3,859万円の増(2.5%)となっています。各会計別の内容については、次のとおりです。

#### <平成24年度特別会計当初予算額>

(単位：千円)

会 計 名	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
国民健康保険事業	15,014,378	14,690,636	323,742	102.2
動物園事業	265,097	372,524	△107,427	71.2
簡易水道事業	130,208	261,577	△131,369	49.8
公設地方卸売 市場事業	73,719	80,582	△6,863	91.5
介護保険事業	11,756,984	11,188,135	568,849	105.1
介護サービス事業	666,925	666,958	△33	100.0
戸別合併処理 浄化槽事業	39,406	32,710	6,696	120.5
後期高齢者 医療事業	1,911,223	1,830,276	80,947	104.4
霊園事業	152,730	148,677	4,053	102.7
<b>総 額</b>	<b>30,010,670</b>	<b>29,272,075</b>	<b>738,595</b>	<b>102.5</b>

## 国民健康保険事業

国民健康保険事業特別会計は、国民健康保険制度に基づく保険事業を円滑に運営するための会計です。

この会計は、主に保険の加入者が納める保険料と国、県及び市がルールによってそれぞれ負担することで賄われています。

平成24年度の予算額は150億1,438万円で、前年度予算額の146億9,064万円に比べて3億2,374万円の増(2.2%)となっています。

### <国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
国民健康保険料	3,369,442	3,432,102	△62,660	98.2
国民健康保険税	30	302	△272	9.9
使用料及び手数料	1	1	0	100.0
国庫支出金	3,729,010	3,657,820	71,190	101.9
療養給付費交付金	610,871	583,017	27,854	104.8
前期高齢者交付金	3,275,696	3,234,850	40,846	101.3
県支出金	695,264	668,887	26,377	103.9
共同事業交付金	1,744,578	1,681,283	63,295	103.8
繰入金	1,569,050	1,411,935	157,115	111.1
諸収入	20,436	20,435	1	100.0
財産収入	0	4	△4	皆減
<b>歳入合計</b>	<b>15,014,378</b>	<b>14,690,636</b>	<b>323,742</b>	<b>102.2</b>

## 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
総 務 費	270,972	280,850	△9,878	96.5
保 險 給 付 費	9,909,936	9,965,846	△55,910	99.4
後期高齢者支援金等	2,060,118	1,822,671	237,447	113.0
前期高齢者納付金等	6,908	4,788	2,120	144.3
老人保健拠出金	200	550	△350	36.4
介 護 納 付 金	879,399	801,342	78,057	109.7
共 同 事 業 拠 出 金	1,744,588	1,681,291	63,297	103.8
保 健 事 業 費	121,107	112,144	8,963	108.0
諸 支 出 金	11,150	11,150	0	100.0
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0
基 金 積 立 金	0	4	△4	皆減
<b>歳 出 合 計</b>	<b>15,014,378</b>	<b>14,690,636</b>	<b>323,742</b>	<b>102.2</b>

## 動物園事業

動物園事業特別会計は、かみね動物園を運営していくための会計です。

かみね動物園の運営費は、主に入場料収入と市税（一般会計からの繰入金）などで賄われています。

### <動物園事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
使用料及び手数料	80,420	80,420	0	100.0
繰 入 金	166,325	274,953	△108,628	60.5
諸 収 入	18,352	17,151	1,201	107.0
<b>歳 入 合 計</b>	<b>265,097</b>	<b>372,524</b>	<b>△107,427</b>	<b>71.2</b>

#### 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
動 物 園 費	262,097	369,524	△107,427	70.9
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>265,097</b>	<b>372,524</b>	<b>△107,427</b>	<b>71.2</b>

## 簡易水道事業

簡易水道事業特別会計は、中里地区と諏訪大平田地区に給水するために設置されている簡易水道（水道により水を供給する事業のうち給水人口が5,000人以下である水道）の経費を賄うための会計です。

この会計は、主に受益者からの使用料と市税（一般会計からの繰入金）などで賄われています。

### <簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

（単位：千円）

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
分担金及び負担金	126	126	0	100.0
使用料及び手数料	27,763	36,594	△8,831	75.9
国庫支出金	4,662	31,375	△26,713	14.9
繰入金	54,515	55,477	△962	98.3
繰越金	1	1	0	100.0
諸収入	441	404	37	109.2
市債	42,700	137,600	△94,900	31.0
<b>歳入合計</b>	<b>130,208</b>	<b>261,577</b>	<b>△131,369</b>	<b>49.8</b>

#### 2 歳出

（単位：千円）

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
簡易水道管理費	57,417	70,068	△12,651	81.9
施設整備事業費	51,584	179,682	△128,098	28.7
公債費	21,207	11,827	9,380	179.3
<b>歳出合計</b>	<b>130,208</b>	<b>261,577</b>	<b>△131,369</b>	<b>49.8</b>

## 公設地方卸売市場事業

公設地方卸売市場事業特別会計は、小売店を通して、家庭で消費される野菜や魚などの食料品を安定的に供給する目的で設けられた市場を運営するための会計です。

この会計は、売上高に応じて納入される売上高使用料や施設使用料と、市税（一般会計からの繰入金）などで賄われています。

歳出予算には、市場を市民に開放して、市場への理解を深めていただくと同時に、市場の活性化を図るための「日立市場まつり」に対する補助金（57万円）も計上されています。

### <公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
使用料及び手数料	29,164	29,405	△241	99.2
財 産 収 入	6	9	△3	66.7
繰 入 金	29,864	34,808	△4,944	85.8
繰 越 金	1	1	0	100.0
諸 収 入	14,684	16,359	△1,675	89.8
<b>歳 入 合 計</b>	<b>73,719</b>	<b>80,582</b>	<b>△6,863</b>	<b>91.5</b>

#### 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
総 務 費	70,719	77,582	△6,863	91.2
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>73,719</b>	<b>80,582</b>	<b>△6,863</b>	<b>91.5</b>

## 介護保険事業

介護保険事業特別会計は、主に65歳以上の方などが介護保険のサービスを受けた場合の費用を支払うための会計です。

この会計は、保険の加入者が納める保険料と社会保険診療報酬支払基金からの交付金のほか、国、県及び市の負担によって賄われます。

歳出予算については、保険給付費が総額の大部分を占めており、その他は、介護保険財政の安定運営のための基金への積立金及び介護認定審査会の運営費などとなっています。

### <介護保険事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
保 険 料	2,610,761	2,066,149	544,612	126.4
分 担 金 及 び 負 担 金	744	1,299	△555	57.3
国 庫 支 出 金	2,328,414	2,210,285	118,129	105.3
支 払 基 金 交 付 金	3,240,809	3,207,323	33,486	101.0
県 支 出 金	1,731,434	1,615,523	115,911	107.2
財 産 収 入	462	1,138	△676	40.6
繰 入 金	1,843,856	2,085,951	△242,095	88.4
諸 収 入	504	467	37	107.9
<b>歳 入 合 計</b>	<b>11,756,984</b>	<b>11,188,135</b>	<b>568,849</b>	<b>105.1</b>

#### 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
総 務 費	347,966	330,550	17,416	105.3
保 険 給 付 費	11,113,695	10,631,209	482,486	104.5
地 域 支 援 事 業 費	230,899	212,728	18,171	108.5
保 健 福 祉 事 業 費	798	812	△14	98.3
基 金 積 立 金	51,875	1,138	50,737	4,558.4
諸 支 出 金	3,751	3,698	53	101.4
予 備 費	8,000	8,000	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>11,756,984</b>	<b>11,188,135</b>	<b>568,849</b>	<b>105.1</b>



## 介護サービス事業

介護サービス事業特別会計は、介護保険制度に基づく居宅サービスや介護福祉施設サービスなど、市がいろいろな介護サービスを提供する事業を行うための会計です。

この会計は、保険者から支払われる給付費とサービスを受けた方が支払う負担金のほか、市税（一般会計からの繰入金）などで賄われます。

サービス事業の主な内容は、次のとおりです。

- ・通所介護事業（デイサービス）
- ・短期入所生活介護事業（ショートステイ）
- ・施設介護サービス事業（特別養護老人ホームほか）

### <介護サービス事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
サービス収入	584,554	579,816	4,738	100.8
国庫支出金	1,925	0	1,925	皆増
繰入金	80,238	86,957	△6,719	92.3
諸収入	208	185	23	112.4
<b>歳入合計</b>	<b>666,925</b>	<b>666,958</b>	<b>△33</b>	<b>100.0</b>

#### 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
サービス事業費	666,925	666,958	△33	100.0
<b>歳出合計</b>	<b>666,925</b>	<b>666,958</b>	<b>△33</b>	<b>100.0</b>

## 戸別合併処理浄化槽事業

戸別合併処理浄化槽事業特別会計は、中里地区に戸別合併処理浄化槽を設置することにより、し尿等を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るための会計です。

### <戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
分担金及び負担金	1,013	995	18	101.8
国庫支出金	4,986	3,214	1,772	155.1
県支出金	1,350	1,080	270	125.0
繰入金	14,797	13,607	1,190	108.7
繰越金	1	1	0	100.0
諸収入	8,259	8,013	246	103.1
市債	9,000	5,800	3,200	155.2
<b>歳入合計</b>	<b>39,406</b>	<b>32,710</b>	<b>6,696</b>	<b>120.5</b>

#### 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
浄化槽管理費	14,883	14,592	291	102.0
浄化槽整備事業費	17,885	12,054	5,831	148.4
公債費	6,638	6,064	574	109.5
<b>歳出合計</b>	<b>39,406</b>	<b>32,710</b>	<b>6,696</b>	<b>120.5</b>

## 後期高齢者医療事業

後期高齢者医療事業特別会計は、後期高齢者の保険料の徴収を円滑に行っていくための会計です。

### <後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	1,611,686	1,544,737	66,949	104.3
繰 入 金	296,202	282,204	13,998	105.0
諸 収 入	3,335	3,335	0	100.0
<b>歳 入 合 計</b>	<b>1,911,223</b>	<b>1,830,276</b>	<b>80,947</b>	<b>104.4</b>

#### 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
総 務 費	26,959	27,396	△437	98.4
後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	1,881,264	1,799,880	81,384	104.5
諸 支 出 金	3,000	3,000	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>1,911,223</b>	<b>1,830,276</b>	<b>80,947</b>	<b>104.4</b>

## 霊園事業

霊園事業特別会計は、東平、鞍掛山、十王、入野、成沢霊園の管理運営を円滑に行っていくための会計です。

この会計は、主に使用料及び手数料で運営されています。

### <霊園事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

#### 1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
使用料及び手数料	108,595	123,323	△14,728	88.1
財 産 収 入	371	319	52	116.3
繰 入 金	17,043	0	17,043	皆増
繰 越 金	26,562	25,034	1,528	106.1
諸 収 入	159	1	158	15,900.0
<b>歳 入 合 計</b>	<b>152,730</b>	<b>148,677</b>	<b>4,053</b>	<b>102.7</b>

#### 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	24年度当初	23年度当初		
墓 地 事 業 費	109,517	117,709	△8,192	93.0
公 債 費	3,672	3,745	△73	98.1
予 備 費	39,541	27,223	12,318	145.2
<b>歳 出 合 計</b>	<b>152,730</b>	<b>148,677</b>	<b>4,053</b>	<b>102.7</b>

## 4 企業会計予算

地方公営企業法を適用し、いわゆる企業会計方式により市が経営している事業は、水道事業、下水道事業、工業用水道事業の3事業です。

企業会計には経常的な経営活動を示すもの（収益的収入及び支出）及び建設改良事業等の資本的な収支を示すもの（資本的収入及び支出）があります。

企業会計の平成24年度当初予算額は、次のとおりです。

### <平成24年度企業会計当初予算額>

（単位：千円）

会計名	科目	24年度当初	23年度当初	前年度比（%）
水道事業	収益的収入	3,529,465	3,731,605	
	収益的支出	3,501,906	3,687,039	
	資本的収入	311,007	637,677	
	資本的支出	1,670,442	1,891,869	
下水道事業	収益的収入	3,275,679	3,279,526	
	収益的支出	3,261,849	3,249,527	
	資本的収入	1,872,198	2,995,192	
	資本的支出	3,049,204	4,179,854	
工業用水道事業	収益的収入	14,028	14,392	
	収益的支出	13,876	14,240	
	資本的収入	—	—	
	資本的支出	6,798	6,514	
合計	収益的収入	6,819,172	7,025,523	
	収益的支出	6,777,631	6,950,806	
	資本的収入	2,183,205	3,632,869	
	資本的支出	4,726,444	6,078,237	

※ 資本的収支の差引不足額は、内部留保資金などで補います。

#### ◇主な収入

##### 【水道事業】

料金等 3,086,802千円

企業債 229,200千円

##### 【下水道事業】

使用料 2,999,394千円

企業債 432,500千円

##### 【工業用水道事業】

料金等 6,381千円

一般会計補助金 7,640千円

## 5 平成24年度の主な施策の概要

### (1) 健やかで安心して暮らせるまち（福祉・医療）

#### <子育て環境の整備>

ア 未来を担う子どもを生み育てる環境の充実を目指し、不妊治療費の初年度の助成回数を2回から3回に増やすなど、出産環境の整備に努めます。

イ 児童クラブのサービス拡充と運営体制の見直しを図るため、運営委託のモデル事業を実施するとともに、民間児童クラブへ施設修繕費の一部を助成し、保護者の負担軽減と児童の安全確保を図ります。

ウ 就職に有利で生活の安定に役立つ資格取得のため、養成機関で2年以上修学する母子家庭の母親に対し、給付金を支給する高等技能訓練促進助成を新たに設けます。

#### <ライフステージに応じた健康づくりの推進>

各種がん検診の受診率向上を目指すとともに、生活習慣病の予防と早期発見、早期治療に関する啓発に努めます。

#### <健康を支える医療の充実>

産科医の確保に努め、日立総合病院の救命救急センター開設を見据えて、連携先となる市内の二次救急医療機関への支援を行います。

#### <高齢者の生きがいと自立支援>

ア 高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らすことができるよう、介護予防をはじめとする高齢者への介護サービスの充実を図ります。

イ 民間事業者が実施する特別養護老人ホームの施設整備に対して補助を行います。

#### <障害者を支える環境の充実>

生活支援の充実を図るため、県からの委嘱事務の移譲に伴い、障害者相談員を配置します。

#### ～本施策の主な事業～

○不妊治療費助成事業	6,014千円
○不育症治療費助成事業	2,513千円
○公設児童クラブ運営委託	6,266千円
○高等技能訓練促進助成事業	8,419千円
○地域医療体制確保事業	175,297千円
○老人福祉施設等の民間施設整備費補助事業	24,990千円
○障害者相談員設置事業	340千円

## (2) 人と文化をつくるまち（教育・文化）

### <豊かな人間性と確かな学力の向上>

- ア 地域の人材や恵まれた自然環境、動物園、科学館、博物館などの施設を活用し、子どもたちの豊かな人間性を培い、自ら学び考える確かな学力の向上に取り組みます。
- イ 理数教育については、引き続き、「理科室のおじさん」を配置するなど、産業都市としての特性をいかし、子どもたちの科学への好奇心や探究心を高める授業を行います。
- ウ 保護者の負担軽減については、小学5・6年生及び中学生の社会科資料集を学校図書館に備えるほか、小学3年生から6年生及び中学生の県学力診断テストを、保護者の負担なしで実施します。
- エ 支援を必要とする子どもたちに対しては、不登校や問題行動を防ぐための教育相談、不登校の児童生徒に対する家庭訪問や校外学習、こども発達相談センターにおける相談事業などを通じて、一人一人のニーズに合った、総合的な支援の実施を図ります。
- オ 安全・安心な学習環境の整備については、引き続き、水木小学校の校舎改築工事及び助川中学校の校舎大規模改造工事を進めるとともに、校舎の耐震化を推進するため、小・中学校の校舎の耐震診断を実施します。

### <学習機会の充実と地域・家庭の教育力向上>

- ア 地域や世代を超えた学習機会の充実、学びの成果を地域にいかすことのできる環境づくりに取り組みます。
- イ 建設中の新図書館施設については、港や船、魚などの海に関する資料を収集したコーナーを整備するなど、地区の特色をいかし、多くの市民に利用される魅力ある施設を目指し、来年春に開館できるよう工事を進めます。

### <多様な文化・芸術の推進>

平成24年度は、7年に1度の神峰神社の大祭礼の年であり、「日立風流物」4台、「日立のささら」3組が公開されますので、これらの指定文化財の公開に要する費用を補助します。

### ～本施策の主な事業～

○心ゆたかな体験学習事業	8,640千円
○未来を拓く科学大好き教育推進事業	13,484千円
○保護者の負担軽減事業	7,326千円
○教育相談事業	50,903千円

○こども発達相談センター事業	1,125千円
○水木小学校校舎改築事業	797,493千円
○助川中学校校舎大規模改造事業	528,396千円
○家庭教育推進事業	5,081千円
○新図書館施設建設事業	576,060千円
○日立風流物、日立のささら公開管理補助事業	8,010千円

### **(3) 活力ある産業のまち（産業）**

#### **< 基幹産業の活性化と新産業創出の支援 >**

ア 中小企業等へのきめ細かな支援を進めるとともに、更なる産業集積の促進を目的として、事業活動の活性化やまちのにぎわいの創出に寄与する事業者への金融支援を行います。

イ 本市特有のネットワークや人材等を活用し、中小企業等の人材育成への支援強化を図ります。

ウ 就業支援については、未就職の高校卒業者を対象とし、就業に必要な知識や技術を習得するための職場実習等の研修を企業に委託する取組を進めます。

エ 一層の進展が予想されるグローバル化に向けては、日立地区産業支援センターを中心に、ベトナムにミッション団を派遣し、日立地区の中小企業に対し経営判断の材料を提供するなど、新たな海外展開への支援を進めます。

#### **< 物流ネットワークの拠点整備と活用 >**

茨城港日立港区については、本格的な復旧・復興に向けて、国や県に迅速な復旧工事の実施を働きかけるとともに、完成自動車取扱い拠点としての機能拡大を図るため、第3ふ頭地区の整備を促進するなど、日立港区の更なる機能充実を図ります。

#### **< 地域の資源を活用した観光の振興 >**

ア 観光の振興については、昨年、震災により延期された第50回記念のひたちさくらまつりを開催し、「相馬野馬追武者行列」や「桐生八木節」などの記念事業を実施します。

イ 本市の大きな観光拠点であるかみね動物園については、これまでチンパンジー舎、サル舎、ペンギン舎、クマ舎を整備してきましたが、引き続き、老朽化したキリン舎を改築するための設計を進め、更なる魅力づくりに取り組みます。

#### **～本施策の主な事業～**

○産業集積促進事業	306,960千円
-----------	-----------



○人材育成強化等支援事業	2,874千円
○地域人材育成事業	78,750千円
○国際化を考えるベトナムミッション団派遣事業	765千円
○日立港区第3ふ頭地区整備事業	250,372千円
○さくらまつり第50回記念事業	3,000千円
○動物園活性化事業	5,700千円

#### **(4) 都市機能が充実したまち（都市基盤）**

##### **<快適な市街地の整備>**

日立電鉄線跡地の活用と一体的に、大甕駅の駅舎改築や自由通路・西側駅前広場・南北アクセス道路事業の設計に着手し、本市南部の玄関口として機能性を高めます。

##### **<まちの活力向上のための幹線道路と生活道路の整備>**

ア 石名坂多賀線、末広地区の十王堂線など、円滑な交通を確保するための道路網の整備を進めます。

イ 中所沢川尻線、友部・伊師浜線、金沢諏訪線をはじめ、災害時に緊急避難路となる(仮称)中丸アクセス、南高野町から大和田町までの日立電鉄線跡地を活用する市道7175号線などの整備を進めます。

##### **<便利で環境にやさしい公共交通体系の構築>**

ア 日立電鉄線跡地を活用した新交通(BRT)導入事業として、JR常磐線と交差する跨線橋の詳細設計に着手し、大みか・久慈間、東大沼・水木間の整備を進めます。

イ 策定を進めている公共交通総合体系計画に基づく、地域と協働で行うパートナーシップ事業や、乗合タクシー等による地域公共交通の運行に対する支援を進めます。

##### **<安全で親しみやすい河川・水路の整備>**

引き続き、大川の改修を行うほか、田尻川流域の治水対策を進めます。

##### **<安定したライフラインの提供>**

ア 水道事業については、友部配水場緊急遮断弁を設置し、災害に強いライフラインの確保に努めます。

イ 下水道事業については、下水道管路施設の耐震化、管理棟の耐震診断、浸水被害を軽減するための雨水対策事業を推進します。

～本施策の主な事業～

○大甕駅周辺地区整備事業	122,533千円
○新交通導入事業	698,832千円
○公共交通政策検討事業	11,027千円
○地方公共交通支援事業	9,623千円
○大川改修事業	95,000千円
○雨水貯留浸透事業	12,200千円

**(5) 安全で環境にやさしいまち（生活環境）**

＜豊かな自然環境の保全とエネルギー利用の効率化＞

ア 新エネルギーの導入を促進するため、引き続き太陽光発電システムを設置する市民に対し、設置経費の一部を補助します。

イ 企業と共同で実施する「未来都市モデルプロジェクト推進事業」として、交流センターに、太陽光発電設備等を設置し、日常の使用電力として再生可能エネルギーを活用し、余剰電力を蓄電池に蓄え、夜間や災害時の電源として有効活用する実証実験に取り組みます。

＜災害に強いまちづくりの推進＞

ア 避難所に防災備蓄倉庫を建設するとともに防災備蓄品の整備を進め、防災ハンドブック、防災マップ、災害非常用持出袋等を配布します。

イ 市の防災拠点となる消防拠点施設に、緊急自動車用の非常用電源を備えた給油取扱所を整備するとともに、ライフラインが寸断された際に水を確保するため井戸を整備します。

～本施策の主な事業～

○防災体制整備事業	133,532千円
○消防拠点施設防災体制整備事業	44,672千円
○新エネルギー普及促進事業	15,024千円
○未来都市モデルプロジェクト推進事業	15,593千円

## **(6) みんなで築くまち（協働）**

### **<コミュニティとの協働>**

「行政とコミュニティ活動のあり方検討委員会報告書」により提言された内容を踏まえ、持続可能なコミュニティの構築に向けた取組を進めます。

### **<男女が共に築く社会>**

男女が働きやすい環境をつくるために、意識啓発を図るなど、仕事と家庭・地域生活を両立できる環境整備に努めます。

### **<情報共有の充実>**

ア 多様な媒体を活用して市の動きや重要施策などの情報を適切に発信する広報機能と、市民の意見を把握する広聴機能の連携に努めます。

イ 市民とのコミュニケーション強化を図るとともに、さらに地域の情報化を推進するため、ケーブルテレビ新規加入費用の一部を助成します。

### **<効率的・効果的な行政経営>**

市税等の納付機会の拡大と利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアやクレジットカードでの税や料金等の納付を可能とする取組を進めます。

### **～本施策の主な事業～**

○女性の人材育成事業	180千円
○災害時情報基盤構築事業	2,669千円
○地域行政情報視聴支援事業	15,750千円
○収納代行業務委託事業	13,604千円

## 6 平成23年度予算に対する下半期収入支出の状況について

### (1) 一般会計

一般会計の平成24年3月31日現在の款別歳入予算の収入状況と款別歳出予算の支出状況は、次表のとおりです。

#### <平成23年度一般会計款別歳入予算額と収入状況>

(平成24年3月31日現在)

区 分	予算現額	収入済額	収入割合
	千円	千円	%
1 市 税	28,318,845	28,204,449	99.6
2 地 方 譲 与 税	578,000	593,531	102.7
3 利 子 割 交 付 金	60,000	63,277	105.5
4 配 当 割 交 付 金	26,000	44,220	170.1
5 株式等譲渡所得割交付金	13,000	16,086	123.7
6 地方消費税交付金	1,800,000	1,931,118	107.3
7 ゴルフ場利用税交付金	40,000	32,803	82.0
8 自動車取得税交付金	110,000	106,226	96.6
9 地方特例交付金	267,278	267,278	100.0
10 地 方 交 付 税	10,260,375	10,260,375	100.0
11 交通安全対策特別交付金	45,000	41,549	92.3
12 分担金及び負担金	654,139	600,631	91.8
13 使用料及び手数料	2,329,051	2,216,562	95.2
14 国 庫 支 出 金	10,314,216	7,899,359	76.6
15 県 支 出 金	4,130,233	1,818,929	44.0
16 財 産 収 入	348,843	231,583	66.4
17 寄 附 金	129,424	129,348	99.9
18 繰 入 金	1,004,146	35,406	3.5
19 繰 越 金	3,152,874	3,152,874	100.0
20 諸 収 入	2,204,564	2,276,164	103.2
21 市 債	5,406,574	146,800	2.7
計	71,192,562	60,068,568	84.4

＜平成23年度一般会計款別歳出予算額と支出状況＞

(平成24年3月31日現在)

区 分	予算現額	支出済額	支出割合
	千円	千円	%
1 議会費	521,288	509,947	97.8
2 総務費	8,783,199	6,826,618	77.7
3 民生費	21,194,418	17,233,832	81.3
4 衛生費	4,286,588	3,006,049	70.1
5 労働費	3,444	1,577	45.8
6 農林水産業費	465,359	324,417	69.7
7 商工費	2,499,144	1,849,416	74.0
8 土木費	9,101,565	6,254,519	68.7
9 消防費	3,261,925	2,962,651	90.8
10 教育費	7,528,142	5,583,610	74.2
11 公債費	6,684,030	6,258,239	93.6
12 予備費	88,152	0	0.0
13 災害復旧費	6,775,308	4,760,328	70.3
計	71,192,562	55,571,203	78.1

なお、会計年度中に一時的に収支の不均衡が生じ、歳計現金が不足した場合に、その資金不足を補うために一時的に借入れを行う、一時借入金については、次表のとおりです。

(平成24年3月31日現在)

	借入金額	返済済額	残高
	千円	千円	千円
一時借入金	2,500,000	1,500,000	1,000,000

## (2) 特別会計

特別会計の平成24年3月31日現在の予算額及び収入支出の状況は、次表のとおりです。

それぞれの会計の性質及び内容により、その執行状況も異なりますが、市は、事業の性質に応じて効率的に執行するよう努めています。

### <平成23年度特別会計予算額と収入支出の状況>

(平成24年3月31日現在)

会 計 名	予算現額	執 行 状 況			
		収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
	千円	千円	%	千円	%
国民健康保険事業	15,123,379	11,681,478	77.2	13,801,411	91.3
動物園事業	391,274	95,682	24.5	295,036	75.4
簡易水道事業	252,896	30,972	12.2	105,422	41.7
公設地方卸売市場事業	76,698	36,975	48.2	63,730	83.1
介護保険事業	11,378,203	8,713,541	76.6	9,946,554	87.4
介護サービス事業	667,872	494,468	74.0	659,846	98.8
戸別合併処理浄化槽事業	31,101	8,706	28.0	21,061	67.7
後期高齢者医療事業	1,835,932	1,749,846	95.3	1,743,014	94.9
霊園事業	201,399	173,638	86.2	66,736	33.1
合 計	29,958,754	22,985,306	76.7	26,702,810	89.1

## 7 市民の市税負担の状況について

市の財政は、市民の皆さんの直接・間接の負担によって賄われています。なかでも市税は、市の財政を運営していくために基盤となる最も重要な歳入であり、市は、常に適正で公平な負担に努力しております。

平成24年度の予算額は274億1,056万円となっており、市民の皆さんの負担額を世帯、人口の平均で表すと、下表のようになります。

### <市民の税負担の状況>

税目	区分	平成24年度予算額	1世帯当たり負担額 (年額)	1人当たり負担額 (年額)
		千円	円	円
	直接税	26,115,556	334,065	137,207
	市民税	11,736,000	150,125	61,659
	固定資産税	11,988,073	153,349	62,983
	軽自動車税	292,000	3,735	1,534
	都市計画税	2,098,000	26,837	11,023
	鉦産税	1,483	19	8
	間接税	1,295,000	16,565	6,804
	市たばこ税	1,259,000	16,105	6,615
	入湯税	36,000	460	189
	計	27,410,556	350,630	144,011

(注) 世帯数78,175世帯、人口190,337人(H24.4.1現在常住人口)